

2. わが国十代女性の妊娠、避妊、中絶、出産に関する現状調査

北村 邦夫	(社) 日本家族計画協会クリニック (東京都)
片桐 清一	青森労災病院 (青森県)
真井 康博	慶愛病院 (北海道)
長池 文康	長池産婦人科医院 (宮城県)
家坂 清子	いえさか産婦人科医院 (群馬県)
岩倉 弘毅	岩倉病院 (東京都)
高橋健太郎	島根医科大学産婦人科 (島根県)
柿木 成也	柿木病院 (鹿児島県)

はじめに

日本産科婦人科学会では、1978年、1983年、1988年の3回にわたって、青少年の性意識や性行動の実態をより正確に把握しようと20歳未満で妊娠した女子を対象とした社会医学的な調査を実施してきた。これらの結果を通して、性交経験の若年化が進行している事実をつかんできたが、第3回目の調査から既に7年が経過していることもあり、最新のデータを収集すべく、本研究班独自で同様の調査を行うことになった。今回は、全国的な規模ということではなく、研究班への協力を要請した全国7地域（北海道、青森、宮城、群馬、東京、島根、鹿児島）の医師の関係する10を超える施設での調査となっている。

また、東京思春期保健研究会の会員（産婦人科医）を対象として、「十代の避妊と避妊指導のあり方」について調査した。

調査対象ならびに調査方法

調査対象：従来の日本産婦人科学会調査と同様、20歳未満すなわち19歳までに妊娠状態を終了を対象とし、今回初めてコントロール群として21歳を選んだ。日本では十代妊娠のみが問題視されてきたが、20歳以上でも大学生など在学中のために親からの経済的

援助によらなければ生活が不可能な場合、いわゆる「親のすねをかじり状態」が問題であるという仮説に基づくものである。調査負担を軽減するために、有職者と大学生とが混在する可能性の高い21歳のみを特定して調査を行っている。

また、十代の避妊と避妊指導を調査するために、東京思春期保健研究会の会員160人に調査表を送付、111人から回答を得た。

調査票の作成と調査方法：

分担研究者と研究協力者によって組織した調査委員会を通じて作成した調査票（別添資料）を、各施設に送付し、1994年12月から1年間の予定で調査を実施することになっている。調査は、産科外来で受診した20歳未満と21歳の女子全例について、待合い時間などを利用して自ら記入してもらうという方法を取り、助産婦、医師などが最終チェックをした上で、補足記入し提出してもらった。初診時における患者自らの記入に加えて、医師・助産婦・看護婦記入欄を設け、妊娠の結末を、中絶については手術完了時まで、分娩については分娩後の新生児チェックまでを行うこととなっている。

回収された調査票は、データベースを作成し、集計、解析が行われる。

調査結果と考察

1. 十代の性と妊娠

1995年3月末までに回収された調査票は203件であり、進捗状況を報告する今回は、19歳以下と、21歳の二つのグループについて、様々な角度からの比較検討を行った。

(1)年齢分布

本調査研究の対象者の年齢分布は14歳2人、15歳1人、16歳9人、17歳22人、18歳35人、19歳72人、21歳68人、総数203人であった。19歳以下とはいえ、高校を卒業したと考えられる18歳、19歳が107人で調査対象者の55.7%を占めていた。その結果、19歳以下141人と21歳62人が比較検討の対象となった。

(2)本人の学歴

妊娠した対象者の背景のうち、学歴については、高校卒業が19歳以下で29.8%、21歳で51.6%と高く、在学中の者も、19歳以下では54.6%、21歳では25.8%あった。

(3)本人の職業

現在の主たる職業を問うと、19歳以下では生徒・学生が最も多く47.6%、無職28.4%、21歳では会社員48.4%、無職21.0%。アルバイトなどを含めた有職者の割合は、19歳以下では23.4%、56.5%。「親のすねかじり」の傾向が強いと思われる割合は、19歳以下で73.1%、21歳では35.6%という結果であった。

(4)本人と相手との年齢関係

性行為の相手として選ばれる対象は同年あるいは年上が多い。同年あるいは年上と思われる割合は、19歳以下では88.6%、21歳では93.6%。

(5)二人の交際を親は認めているか

認めているの割合が、19歳以下では81.6%、21歳は75.8%というように、き

わめて高率であることは注目に値する。

(6)初めての性交の年齢

19歳以下では15歳、16歳、17歳での割合が69.5%、21歳では17歳をピークに、同年齢での体験率は51.7%と、19歳以下の方が低年齢層の占める割合が大きい。僅か2、3年の違いとはいえ、性行動の違いには注目すべきだ。

(7)初めて性交した時期

19歳以下、21歳とも8月と3月がトップで、それぞれ12.8%、12.9%。19歳以下では次いで、10月、7月、5月、6月の順。暑い時期に集中する。21歳では12月、4月、7月の順。従来から、若い世代の初めての性交経験は、学校の休暇に関係するといわれてきたが、現在21歳の若者では、そのような傾向が認められるものの、それ以下、今回の場合では19歳以下の者では、このような傾向が失われたことを示唆している。学校のカリキュラムや休暇に無関係に、初めての性交が持たれるようになっていくわけ、性交が彼らにとって一般化し、決して特別なものではなくなっていることを意味しているのか。

(8)初めての性交に対する態度

19歳以下、21歳ともに「何となく」が第一位で、それぞれ39.0%、32.3%。19歳以下では「わからない」(19.9%)、「好奇心で」(19.1%)、「自分で希望した」(12.1%)と続く。21歳では、「好奇心」(24.2%)、「わからない」(22.6%)、「自分で希望して」(11.3%)の順。両群の間に差は認められない。

(9)交際から初めての性交までの期間

驚きべきことは、19歳以下では1週間以内が22.7%(21歳では9.7%)を占めていることだ。1ヶ月以内に性交に至ったのは19歳以下は44.0%、21歳が34.9%であり、19歳以下では概して早い期間で性交に至っている。僅か2、3年という年齢差であるとはいえ、性行動には大きな違い

が生じているといえる。

(10) 今までに性的な快感があったか

「わからない」との回答が目立つが、これは、快感が「わからないのか」、日本人的な恥じらいのために、「わからない」という表現に留めたのかは、まさに「わからない」。注目すべきことは、19歳以下であっても38.3%が、21歳では58.1%が「快感あり」といい、「快感がない」というのは、それぞれ6.4%、3.2%に過ぎなかったことだ。一般的に、女性には性欲がないなどという決め付けがなされがちであるが、この結果をみる限り、大きな誤りであることは明らかである。むしろ、快感を会得している限り、年齢が若いとは、未婚であるという理由だけでは、彼らの性行動を抑制することはできないということではないか。

(11) 今まで何人の男性との間に性交があるか

19歳以下では1人(22.7%)、21歳では3人(19.4%)が最多。何人が平均的かというようなデータを持ち合わせていないが、5人以上との関係があると回答したのは、19歳以下で24.1%、21歳では29.1%であり、妊娠と同時に性感染症(STD)への不安を抱かずにはおれない。

(12) 今回の妊娠に関して避妊したか

結果として妊娠に向かった性交が行なわれたわけで、「いつもの」は19歳以下9.9%、21歳で8.1%と低率だった。残りの8~9割りは、避妊に対して必ずしも積極的ではなかったわけで、起こるべくして起こった出来事ともいえる。しかし、「いつもの」と回答したのは10%足らずとはいえ、それならばなぜ妊娠に向かったのだろう。避妊に対する知己のあいまいさ、それを実行に移すことの難しさを改めて感じた。

(13) 主な避妊法

毎日新聞社の調査によれば、既婚女性の77.7%がコンドームを選択しているとして、本調査でも同様で、19歳以下77.9%、21歳84.4%がコンドームを使っていたという。次いでオギノ式が、それぞれ

13.0%、12.5%であり、避妊の選択肢が世界で最も少ない国を感じさせるデータとなっている。ピルの使用者はゼロであった。

(14) 妊娠までの性交回数

忘れたという回答が19歳以下の31.2%、21歳の43.5%を占めているが、これは「忘れるほどの回数」であることを意味するのか不明。回数の判明した者では、10回以上がピークで19歳以下39.0%、21歳38.7%となっている。たった1回での妊娠に至ったとの回答が、それぞれ1.4%、3.2%あることは注目すべきだ。

(15) 市販の妊娠検査薬を使ったか

19歳以下、21歳ともに8割近くが使ったとしており、この世代における妊娠判定の手段の一つとして、検査薬が広く普及していることが明らかとなっている。

(16) 妊娠について最初に相談した人

当然のことながら、「相手の人」との回答が19歳以下で67.4%、21歳では72.6%あったが、相手に相談するよりも前に「友人」が選ばれているのも、この世代の特徴かもしれない。それぞれ17.7%、16.1%。19歳以下の女の子にとっては、身近な所にいる大人である「先生」への相談は0.7%に過ぎなかった。

(17) 妊娠の結末

14歳の中学生が2人いるが、うち1人は妊娠11週、胎状奇胎で妊娠が終結している。19歳以下では、これに加えて既に出産している例が32人(うち帝王切開3人、9.4%)、出産予定17人、中絶71人(うち中期中絶が18人、25.4%)、自然流産1人、不明13人。21歳では出産例7人(帝王切開1人、14.3%)、出産予定11人、中絶34人(うち中期中絶が3人、8.8%)、自然流産1人、不明9人となっている。

妊娠例の中での中絶の割合は19歳以下で50.4%、21歳では54.8%で大差がないものの、中期中絶については19歳以下が、21歳に比べて3倍近く高率であること

が明らかとなり、問題点が浮き彫りされることとなった。

(18) 婚姻状況

19歳以下、21歳ともに「未婚」が目立ち、それぞれ67.4%、66.1%。19歳以下では妊娠をきっかけにしたと思われる、「駆け込み結婚」が28.4%と高い(21歳は14.5%)。「既婚」は19歳以下で2.8%(21歳では17.7%)に過ぎなかった。

今後は、症例数を増やしていきながら、最終的には以下の問題について、クロス集計を行なうなどして、分析し考察を加えたいと考えている。

①年齢を問わず、親からの経済的支援に依存している者と、経済的に独立している者との間に、性交に対する意識、行動、妊娠への受け止め、結末などに違いがないか。これを通して、「十代」の妊娠が問題ではなく、「親のすねかじり」妊娠が問題であることを明らかにできないか。

②婚姻関係(未婚か、既婚か、駆け込み婚か)、本人の学歴、交際を親が認めているか否かの違いによって、性交や妊娠に何等かの影響が及んでいるか。

③性交に対して、「自分で希望した」など自分の意志が明確になっている女性と、「ただ何となく」など消極的な女性との間に、性行動、妊娠などに違いがないか。

④相手の基礎データ(年齢、職業、など)との違いによる、性行動、妊娠への関連について。

2. 十代の避妊と避妊指導のあり方

回答を寄せてくれた産婦人科医111人の年齢は、平均62歳。男性が78.4%、学校での性教育あるいは避妊指導などの経験者27.0%、思春期外来を既に設置している者13.5%という結果だった。このような背景を有する産婦人科医の回答は、以下の通りである。

(1) 避妊指導者として誰が適当か

回答者本人をさすかどうかはわからないが、「産婦人科医」との回答がトップで、49.5%。次いで「教師」「保健婦・助産婦」と続く。

(2) 避妊指導行なうのにふさわしい場所

学校を挙げたものが多く66.7%。家庭や雑誌・メディアと回答する者もいた。

(1)と(2)とを総合すると、「産婦人科医が学校で避妊指導をすべきだ」との声が聞こえてくるが、全国を見渡しても産婦人科医が学校医であるという例は少なく、将来への産婦人科医としての願望あるいは意思表示とも受け止められる。

(3) 十代のセックスについて

思春期と関するチャンスの多い専門家であるたか、十代のセックスに対しての受容性が高い。「絶対にいけない」は19.8%に過ぎず、「結婚が前提ならば」(31.5%)、「二人が望むならば」(24.3%)が上位。

(4) 産婦人科医として推奨する避妊法

十代のセックスを前提として、推奨する避妊法を問うと、57.7%がコンドームを、47.7%が経口避妊薬(ピル)を挙げた。

(5) 中絶後に推奨する避妊法

しかし、中絶後は圧倒的にピルと回答する者が増加し64.0%(コンドームは39.6%)。確実な避妊法、安全な避妊法としてのピルの価値を専門家として認識しながら、「失敗妊娠の後はピルを」の姿勢には矛盾を感じる。ピルに対する評価が、専門家の間でも分かれていることを示唆するものだ。

(6) 高校生に対する避妊指導の必要性

回答者の76.6%が「無条件で必要」と回答しているが、中には、避妊指導Wが行なわれることで、性行動を加速させることにはならないかと危惧する者も数人いた。

今後は、日本思春期学会の会員を対象として同様な調査を実施し、十代の避妊指導のあり方について、更に検討を続けたい。

秘

No.

若年妊娠に関する調査票

調査日 年 月 日

施設名	
-----	--

妊娠例の病歴番号	
----------	--

この調査は、19歳以下の妊娠例と21歳の
妊娠例について行ってください

A あなた自身のことについてお聞きします。

あなたの年齢、身長、体重を記入してください。.....年齢 歳、身長 cm (妊娠前の) 体重 kg

該当する答えの番号を右の□の中に記入してください。

問1. 学歴：①中学生、②中卒、③高校生、④高校中退、⑤高卒、⑥予備校生、⑦大学(短大)生、⑧専門学校生

問2. 居住地区：①都市部(市)、②郡部(町・村)、③国外.....

問3. 居住地区(市・町・村)の人口は：①20万人以上、②5～20万人未満、③5万人未満.....

問4. 職業：①無職、②生徒・学生、③会社員、④家業手伝、⑤アルバイト、⑥その他().....

問5. 同居家族：(同居は“1”、別居は“2”、死別は“3”と記入してください。) 父 母 祖父 祖母

同居している兄弟姉妹は何人ですか。あなた自身は除いてください。いなければ“0”(ゼロ)と記入してください。..... 人

問6. 親との続柄：①長女、②次女、③三女、④四女、⑤五女、⑥六女、⑦七女、⑧養女、⑨その他.....

B 相手の人についてお聞きします。

相手の年齢を記入してください。.....年齢 歳

問1. 最終学歴：①中学生、②中卒、③高校生、④高校中退、⑤高卒、⑥予備校生、⑦短大生、⑧大学生、⑨大学卒、⑩その他()、⑪不明.....

問2. 居住地区：①都市部(市)、②郡部(町・村)、③不明.....

問3. 居住地区(市・町・村)の人口は：①20万人以上、②5～20万人未満、③5万人未満、④不明.....

問4. 職業：①無職、②生徒・学生、③会社員、④家業の手伝、⑤アルバイト、⑥教師、⑦家庭教師、⑧その他()、⑨不明.....

問5. 相手の人との関係：①夫、②婚約者、③知人、④友人・恋人、⑤職場の人、⑥師弟(先生と生徒)、⑦親族(父・兄・義父・義兄弟・おじなど)、⑧強姦、⑨その他()、⑩不明.....

問6. 相手の人との交際を親が認めていますか：①認めている、②認めていない.....

問7. (結婚している人だけ答えてください) 結婚(入籍)した年月日は.....平成 年 月 日

C 月経についてお聞きします。

問1. 初めての月経は何歳・何カ月でしたか。..... 歳 カ月

問2. ふだんの月経の周期は何日ですか。：①～24日、②25～39日、③40日以上、④わからない、⑤全く不順.....

問3. ふだんの月経の出血期間は何日間ですか。：①1～2日間、②3～7日間、③8日間以上.....

問4. 最後の月経はいつから始まって、何日間でしたか。.....平成 年 月 日～ 日間

D 初めての性交についてお聞きします。

問1. 初めての性交は何歳・何カ月の時でしたか。..... 歳 カ月

問2. 初めての性交の場合はどこでしたか。：
①自宅、②相手の家、③ホテル・モーテル、④野外、⑤車の中、⑥国外、⑦その他().....

問3. 初めての性交した時期は、何月でしたか。：..... 月

問4. 初めての性交に対する態度はどうか：

①自分で希望した、②好奇心から、③無理やりに、④何とはなしに、⑤お酒を飲んで、⑥わからない.....

問5. 交際を初めてから、初めて性交した時までの期間はどのくらいですか。：

①1週間以内、②1カ月以内、③1～4カ月、④5～8カ月、⑤9～12カ月、⑥1年以上.....

問6. 今まで、性的な快感はありましたか。：①はい、②いいえ、③わからない.....

問7. 結婚前の性交についてどう思いますか。：①愛していなくとも二人の同意があればよい、②愛していればよい、③結婚が前提ならかまわない、④どんな場合でもよくない、⑤わからない.....

問8. 今まで何人の男性との間に性交経験がありますか。.....(約) 人

E 避妊についてお聞きします。

問1. 今回の妊娠に関して、避妊をしましたか。：①いつもしていた、②時々していた、③しなかった.....

問2. 「いつも避妊をしていた」、「時々してた」と答えた人にお聞きします。主な避妊の方法は何でしたか：

①コンドーム、②膈外射精、③オギノ式・基礎体温法、④ピル、⑤マイルーラ等の殺精子剤、⑥その他.....

問3. 初経（初潮）に関する教育以外に、性教育を受けましたか。：①うけた、②うけない.....

問4. 「性教育を受けた」と答えた人にお聞きします。主にどこで、性教育・性情報を受けましたか。：

①学校、②家庭、③友人、④雑誌、⑤その他（ ）.....

問5. 「性教育を受けない」と答えた人にお聞きします。性教育を受けたかったですか。：

①受けなかった、②どうでもよい、③必要ない、④わからない.....

F 今回の妊娠についてお聞きします。

問1. 妊娠の相手の人と、交際を始めてから、初めて性交した時までの期間はどのくらいですか。：

①1週間以内、②1カ月以内、③1～4カ月、④5～8カ月、⑤9～12カ月、⑥1年以上、⑦忘れた.....

問2. 妊娠までの性交回数は何回でしたか。：①1回、②2～5回、③6～9回、④10回以上、⑤忘れた.....

問3. 妊娠直前1カ月間の、性交回数は何回か。：①1回、②2～5回、③6～9回、④10回以上、⑤忘れた.....

問4. 同棲したことがありますか。：①はい、②いいえ.....

問5. 月経が遅れたときの気持ちはどうか。：

①妊娠したと思った、②そのうちあると思っていた、③気にしなかった.....

問6. 市販の妊娠検査薬を使用しましたか。：①使った、②使わなかった、③郵便による妊娠検査を利用した.....

問7. 妊娠を知った時にどう思いましたか。：①ショックだった、②何とも思わなかった、③うれしかった.....

問8. 親(父・母)は妊娠を知っていますか。：①自分から知らせた、②知らせていないが知っている、③知らない.....

問9. 現在のあなたの妊娠に対する気持ちをお聞かせ下さい。：

①不安・心配、②複雑、③悲しい、④何とも思わない、⑤うれしい、⑥その他（ ）.....

問10. 妊娠について最初に相談した人はだれですか。：①だれにも相談してない、②相手の人、③友達、④女姉妹、

⑤男兄弟、⑥学校の先生、⑦医師、⑧父親、⑨母親、⑩その他（ ）.....

問11. 前にも妊娠したことがありますか。：①ある、②ない.....

問12. 前にも妊娠したことのある人にお聞きします。今まで(今回の妊娠をのぞいて)何回妊娠しましたか。---合計 回

分娩 回、人工中絶 回、自然流産 回、その他 回

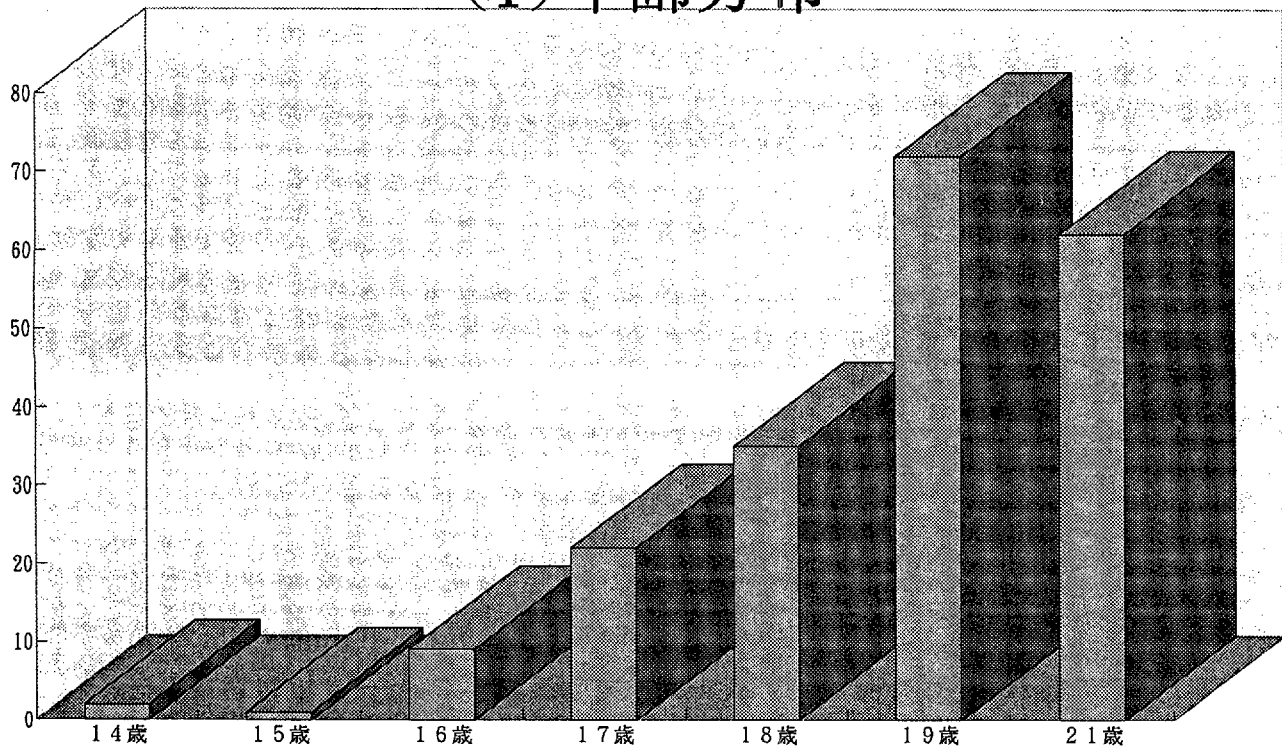
G 妊娠を続ける方にお聞きします。

- 問1. 今回の妊娠は予測しましたか。：①はい、②いいえ
- 問2. 子供を産む（産みたいと思う）理由は何ですか。：
①子供が欲しいから、②何となく、③中絶できなかったから、④その他（ ）
- 問3. 妊娠や子供のこと、そして自分の将来のことなど、何でも相談できる人がいますか。：①いる、②いない
- 問4. 相談できる人がいると答えた人にお聞きします。誰に相談しますか。：①相手の人、②夫、③実母、
④義母、⑤女姉妹、⑥男兄弟、⑦父親、⑧友人、⑨教師、⑩医療従事者（医師、保健婦、助産婦、
看護婦など）、⑪養護教諭、⑫その他（ ）
- 問5. 妊娠を相手の人（または夫）に知らせたとき、相手の反応はどうでしたか。：
①おどろいた、②何も言わなかった、③よろこんだ、④その他（ ）
- 問6. 妊娠を親（父・母）に知らせたとき、親の反応はどうでしたか。：
①おどろいた、②何も言わなかった、③よろこんだ、④怒った、⑤その他（ ）
- 問7. 子供は誰が育てますか。：①一人で育てる、②彼と二人で育てる、③自分と実母で、④彼の家族が育てる、
⑤養子に出す、⑥施設に預ける、⑦何も考えていない、⑧わからない、⑨その他（ ）
- 問8. 過去1年の間に、何かストレスとなるような出来事がありましたか。：①はい、②いいえ
- 問9. 「はい」と答えた人にお聞きします。それは、どんな出来事でしたか。空欄に記入してください。
- 問10. 現在学生である人にお聞きします。今後学校はどうしますか。：
①続ける、②休学する、③退学する、④転校する、⑤わからない、⑥その他
- 問11. 現在未婚の方にお聞きします。今後入籍する予定はありますか。：①ある、②ない、③わからない

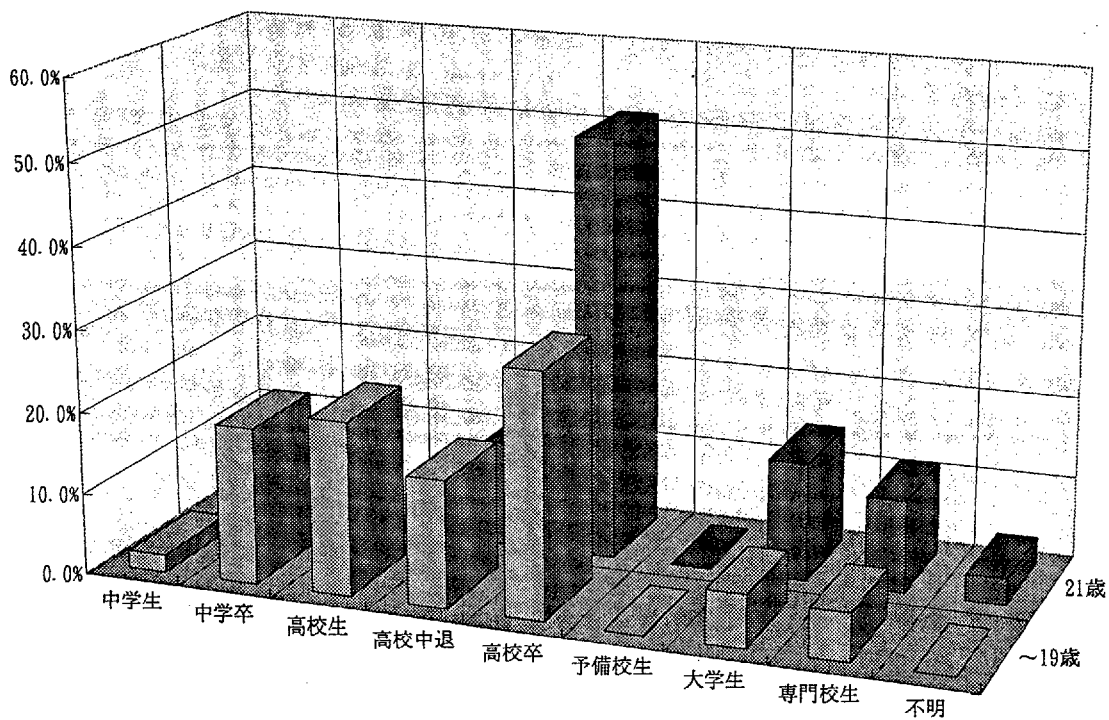
H 医師・助産婦・看護婦記入欄

- 問1. 初診時の妊娠週数：妊娠 週
- 問2. 妊娠中毒症の症状：①なし、②浮腫、③蛋白尿、④高血圧
- 問3. 性 感 染 症：①なし、②梅毒、③淋病、④クラミジア、⑤その他（ ）
- 問4. 妊 娠 の 結 末：(1)自然流産：①なし、②あり 妊娠 週
 (2)人工妊娠中絶：①なし、②あり 妊娠 週
 (3)経 膈 分 娩：妊娠 週 平成 年 月 日
 (4)帝 王 切 開：妊娠 週 平成 年 月 日
 (5)分 娩 時 間：（1期+2期）、約 時間 不明
 (6)分娩総出血量：（含3期）、約 ml 不明
- 問5. 新生児：①男、②女 生下時体重 g
 ①正常、②先天奇形、③その他（ ）
- 問6. （分娩した人だけ）妊娠期間中の妊婦健診の受診回数 合計 回

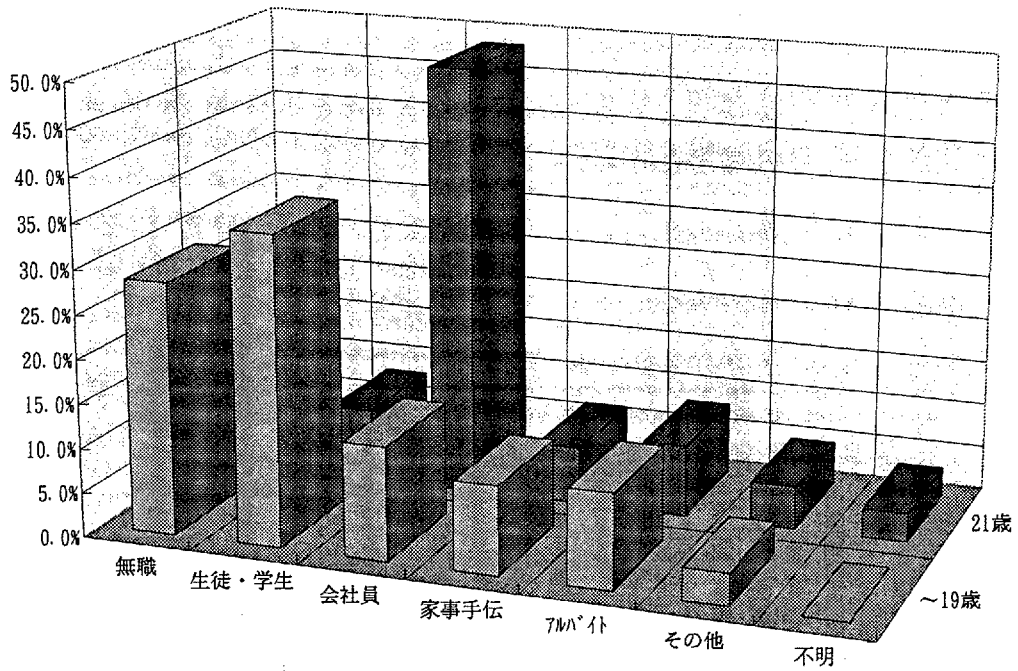
(1) 年齢分布



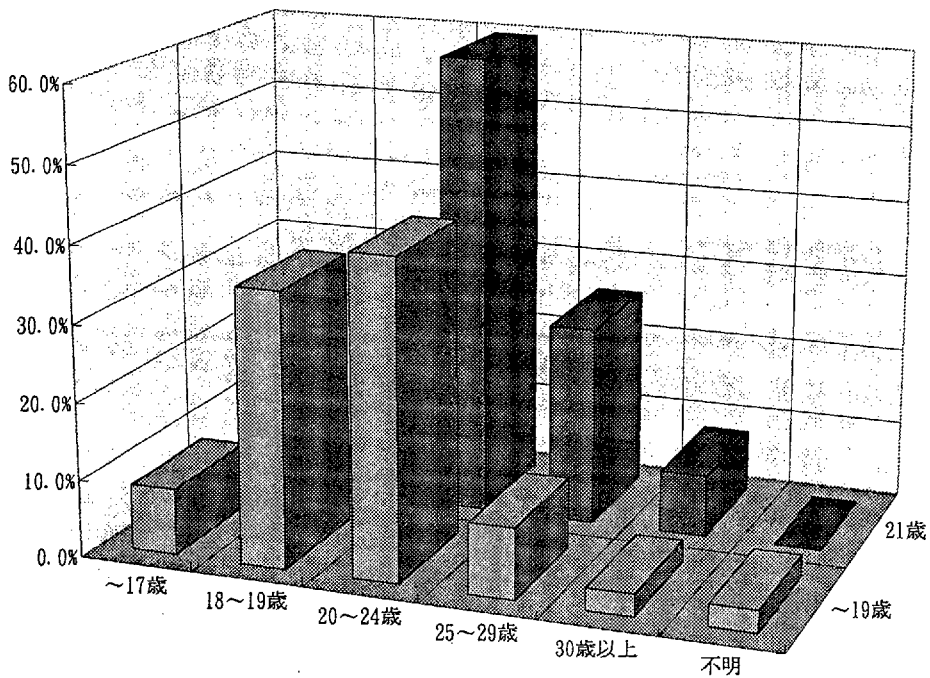
(2) 本人の学歴



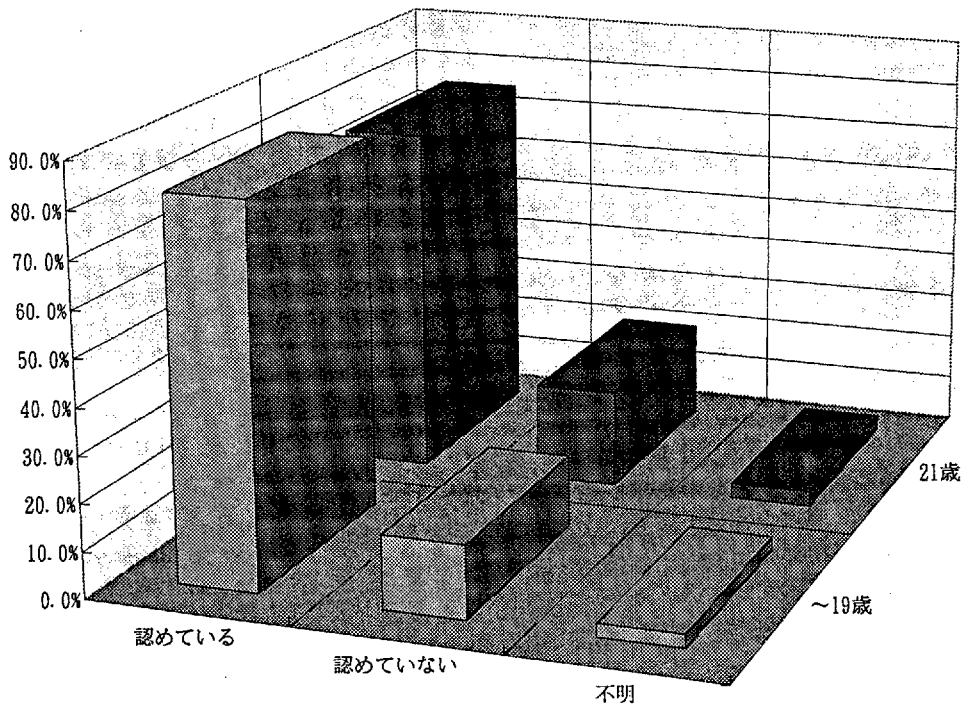
(3) 本人の職業



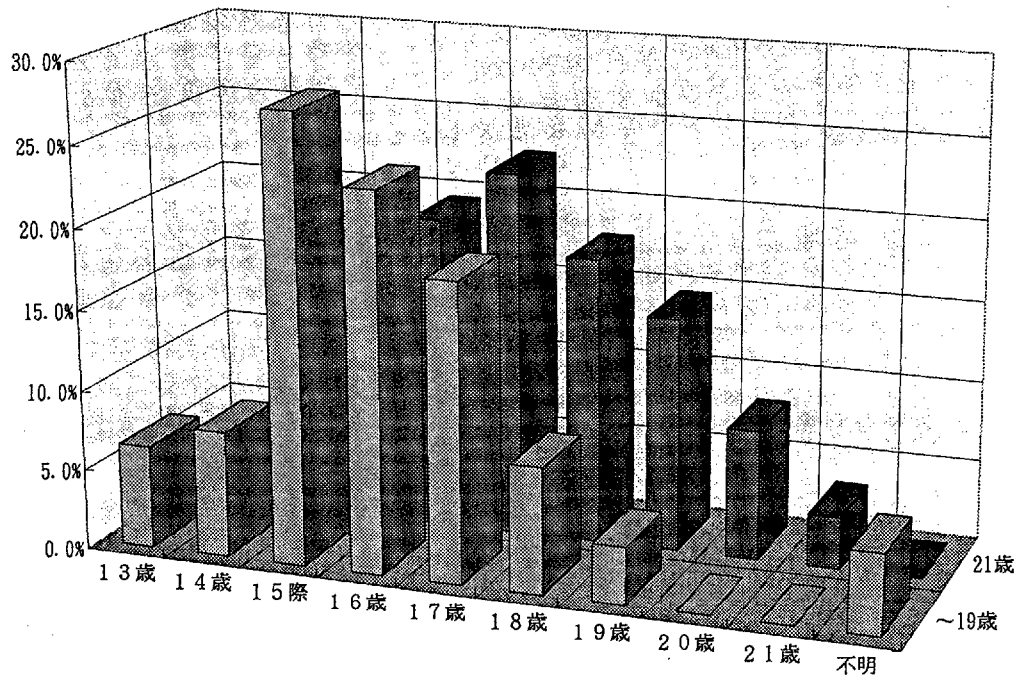
(4) 本人と相手との年齢関係



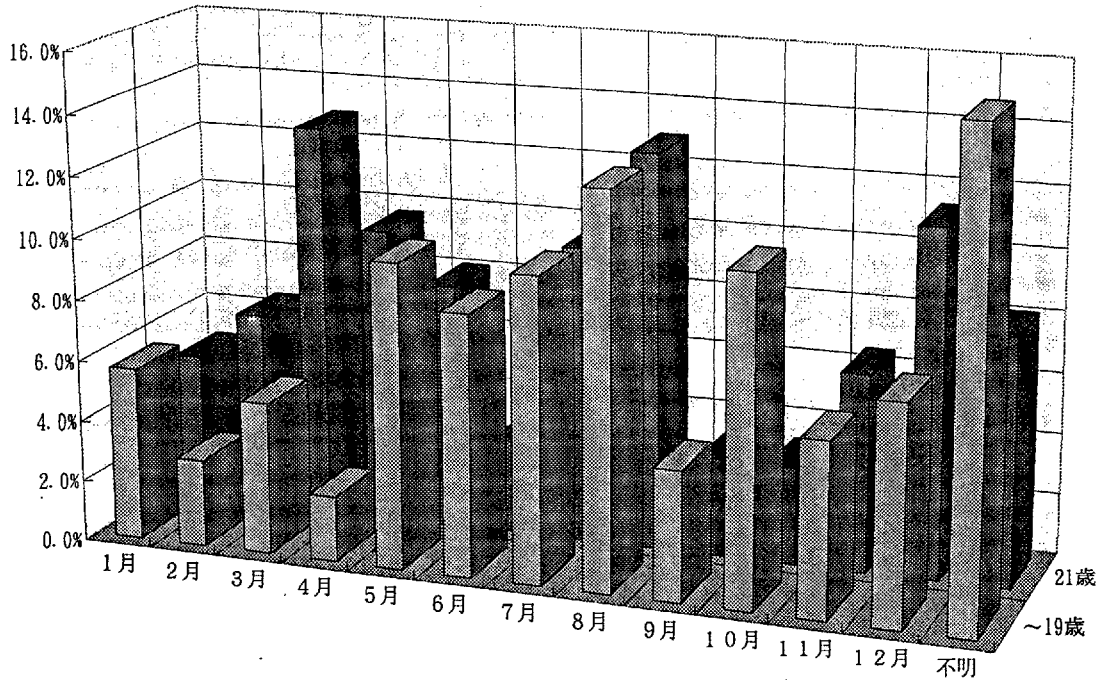
(5) 二人の交際を親は認めているか



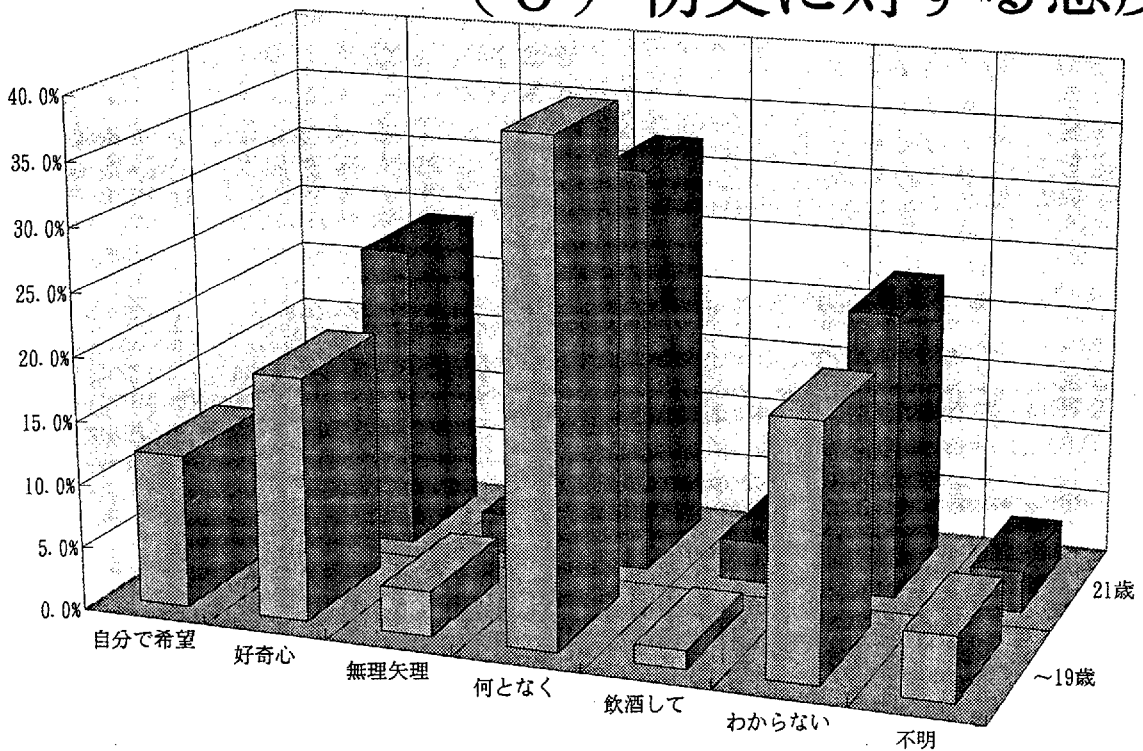
(6) 初交年齢



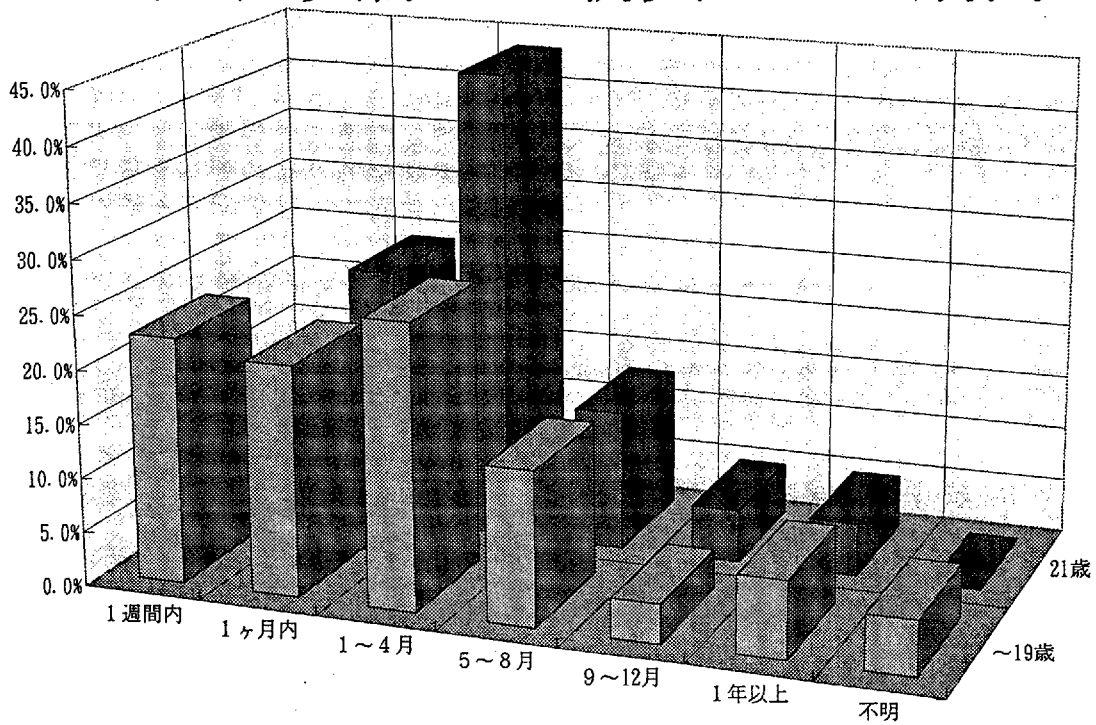
(7) 初交の時期



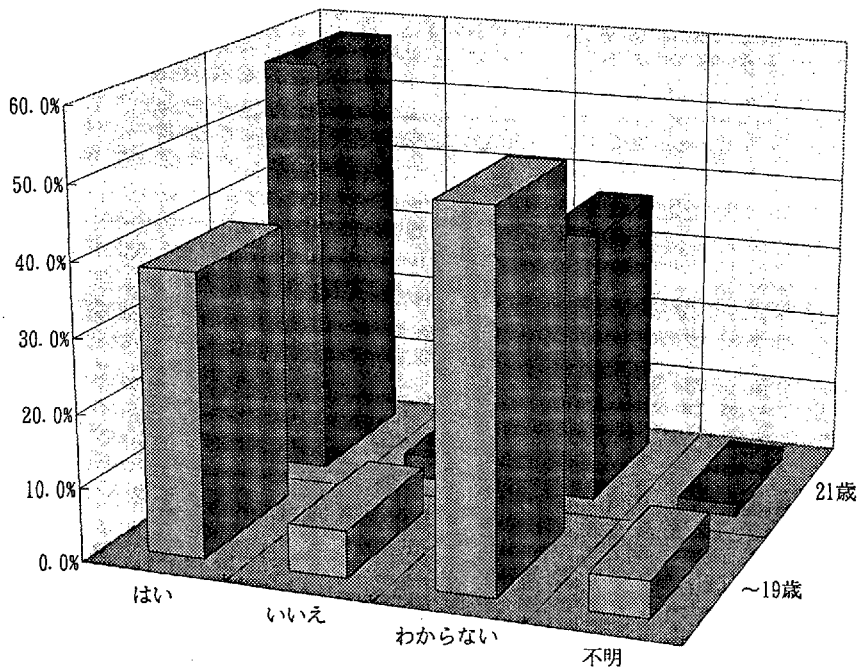
(8) 初交に対する態度



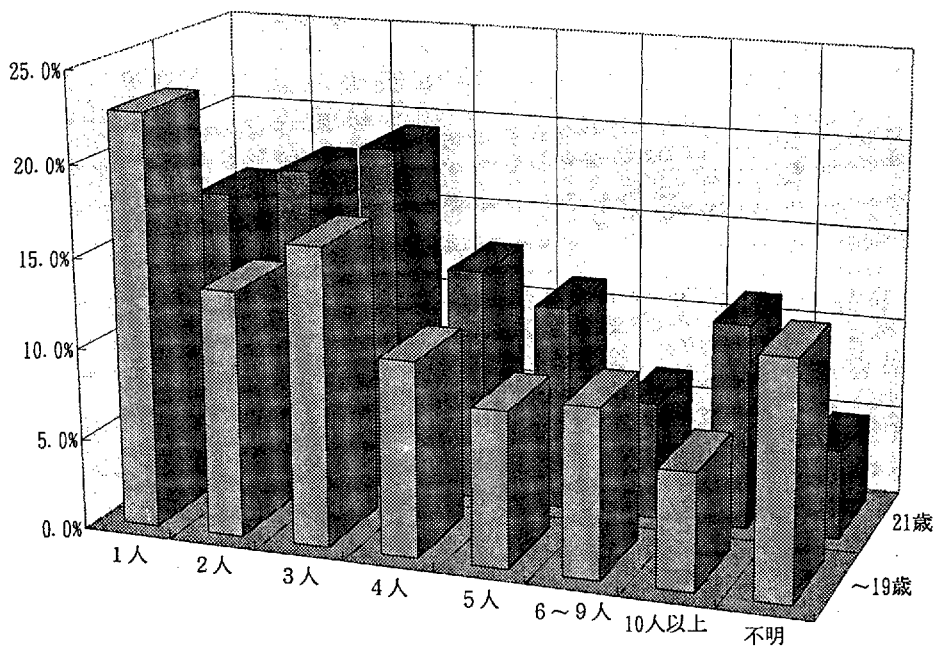
(9) 交際から初交までの期間



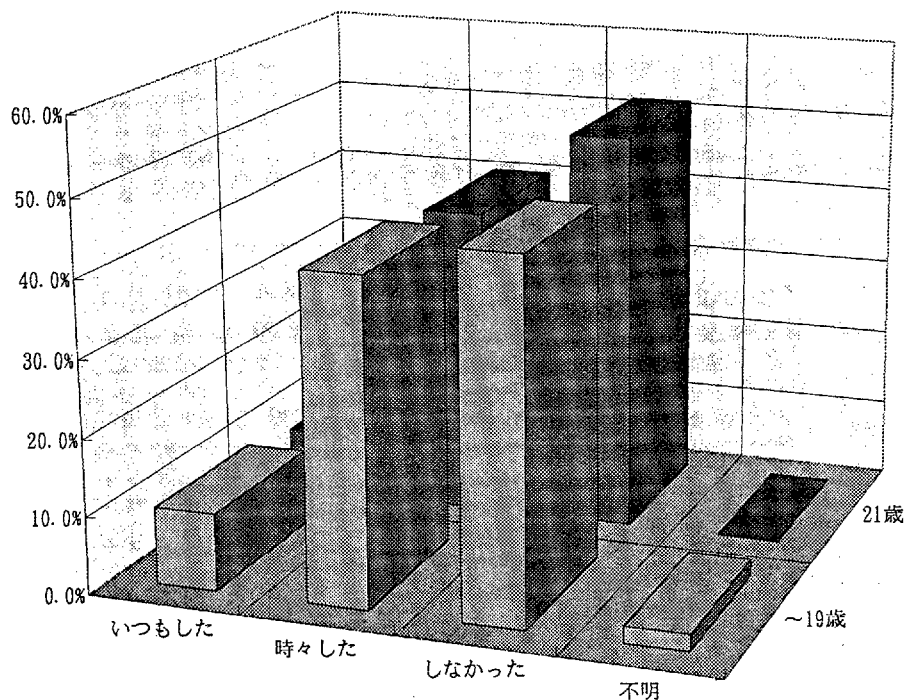
(10) 今までに性的快感はあったか



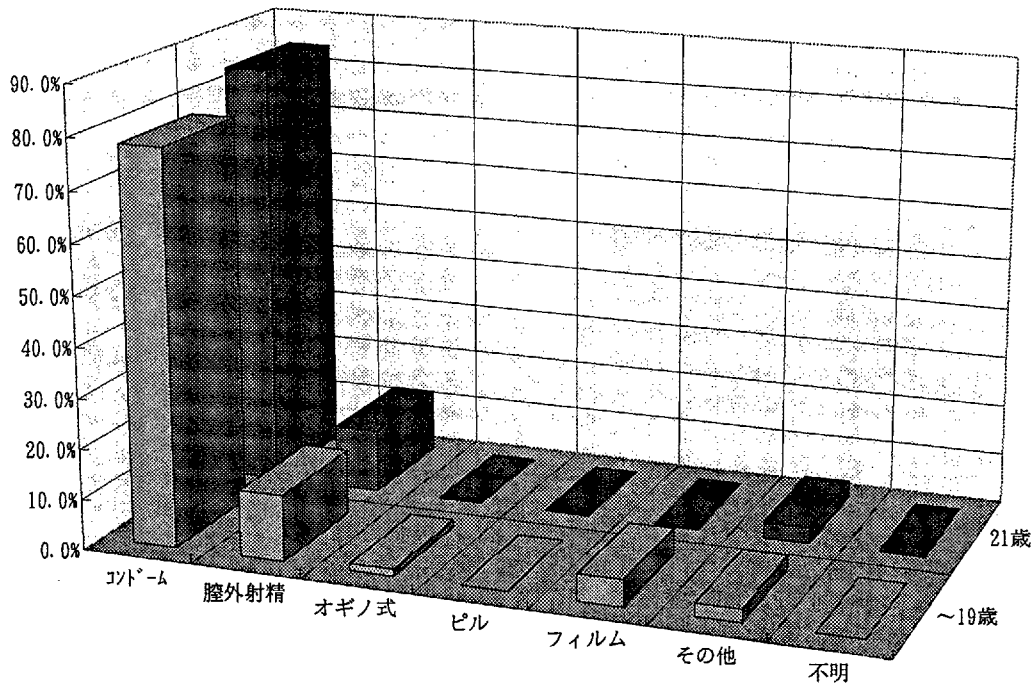
(11) 今までに関係した男性の人数



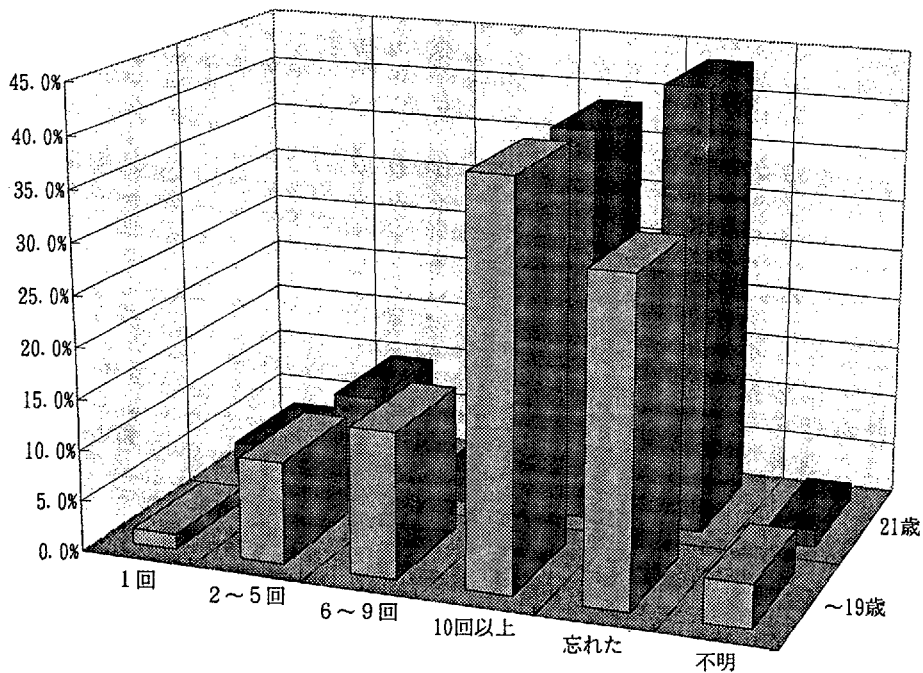
(12) 今回の妊娠に関して避妊したか



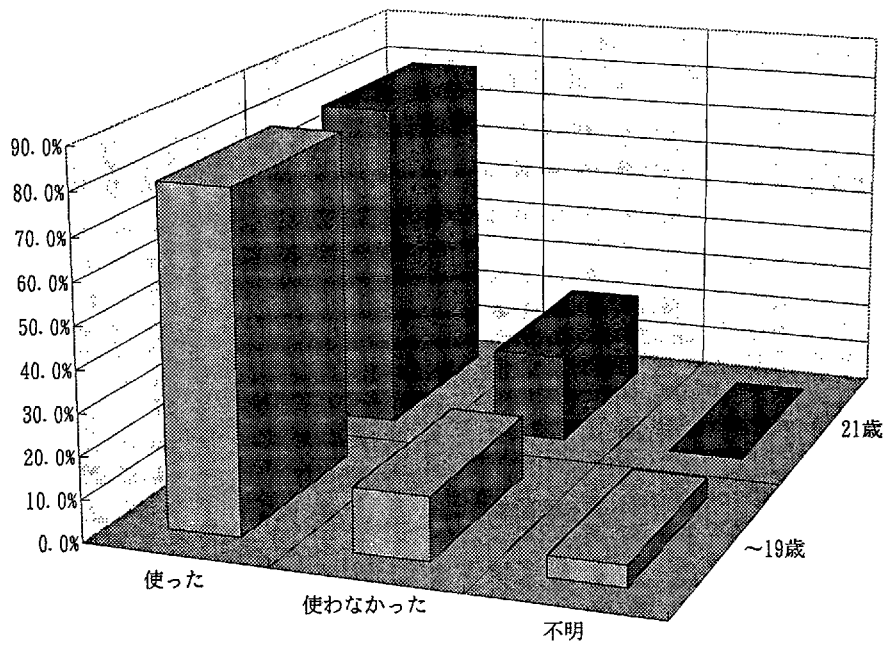
(13) その時の主な避妊法



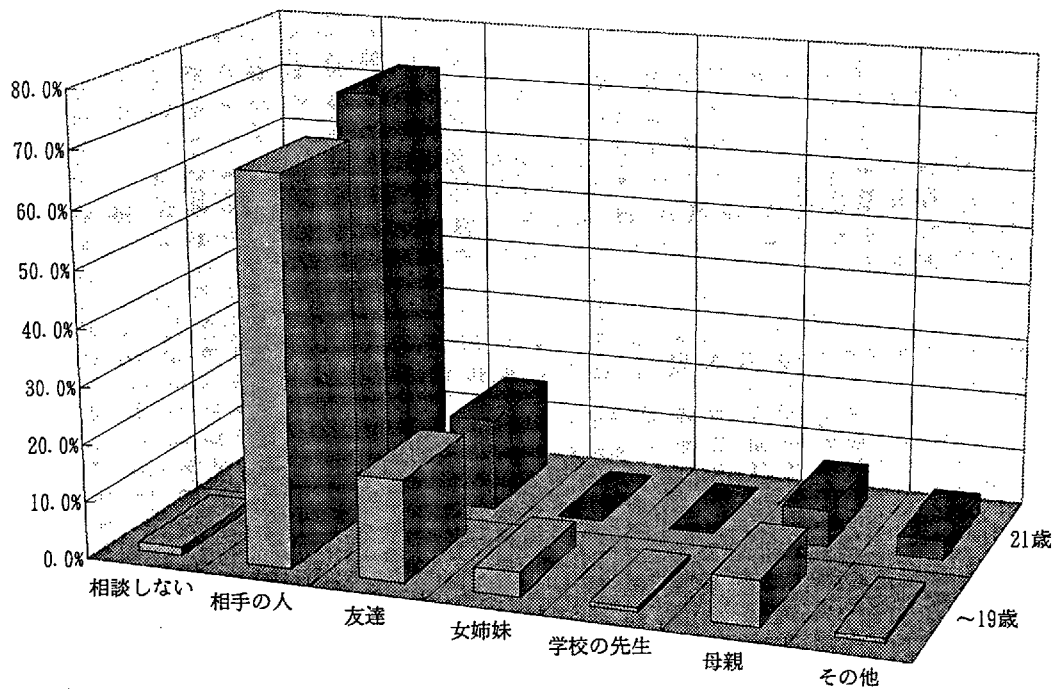
(14) 妊娠までの性交回数



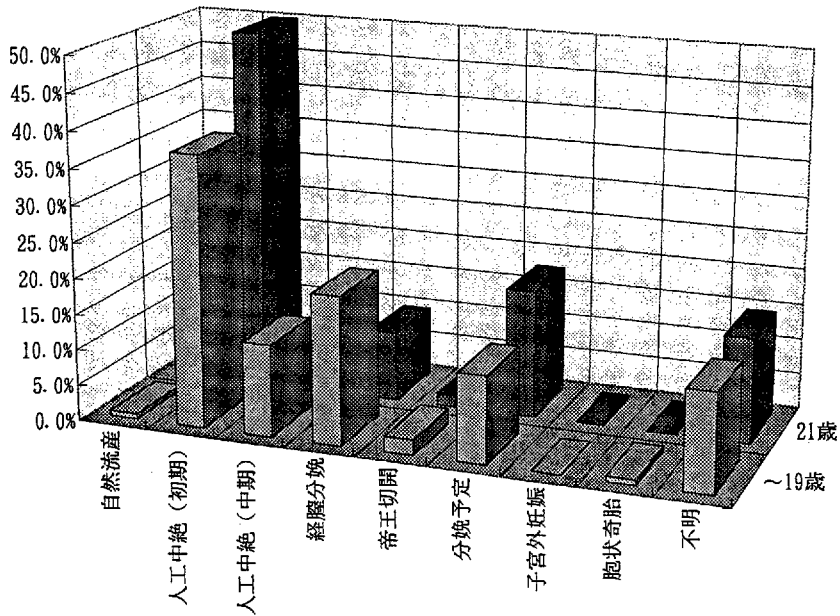
(15)市販の妊娠検査薬を使ったか



(16)妊娠について最初に相談した人

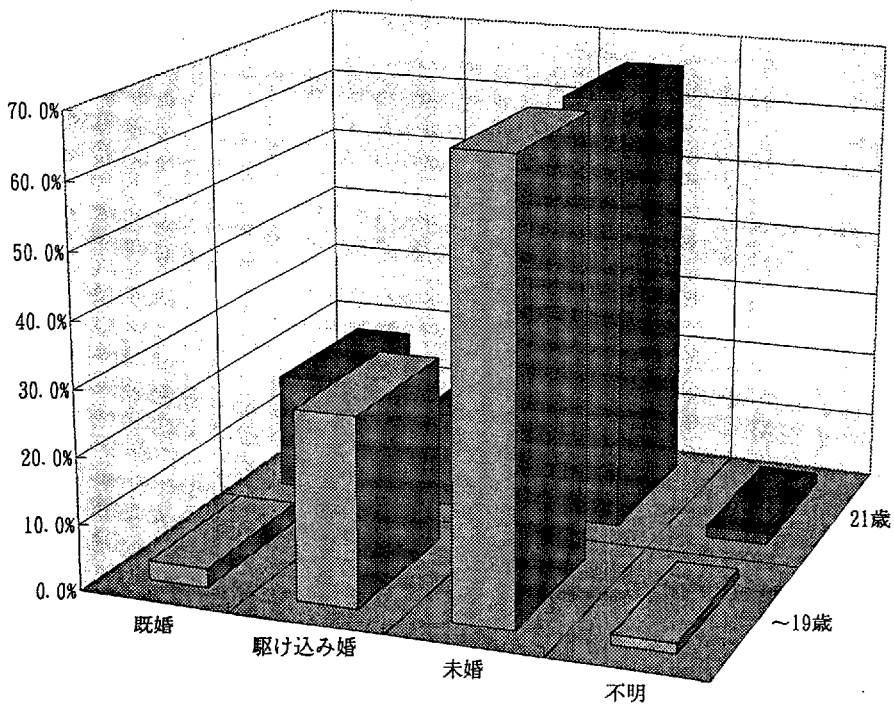


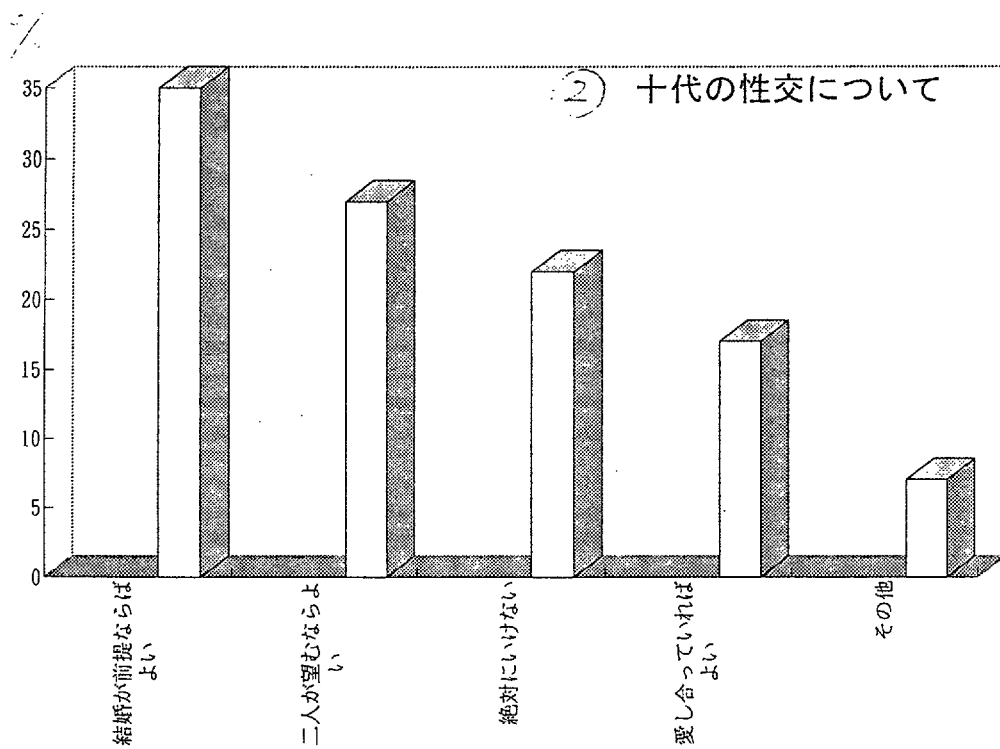
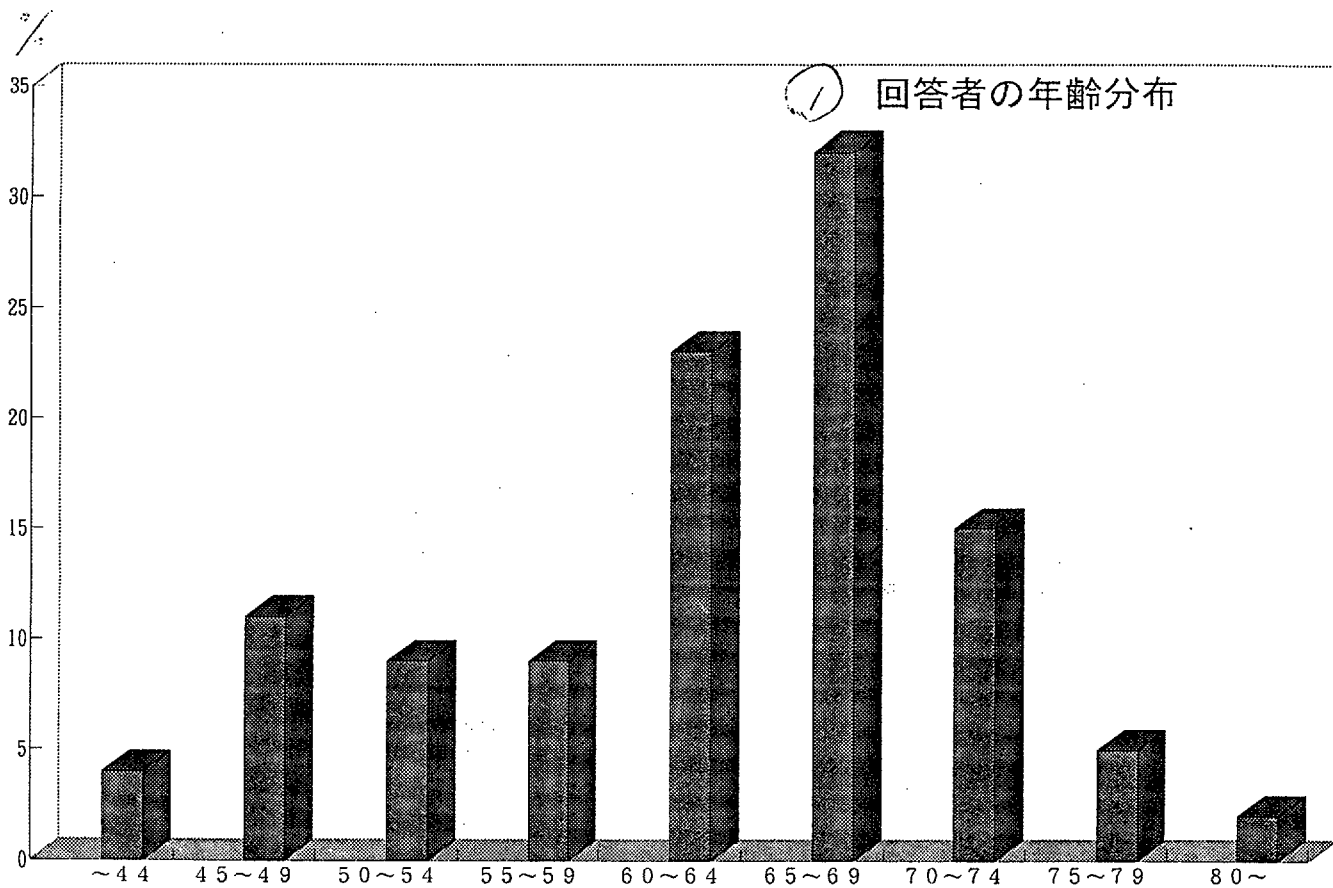
(17) 妊娠の結末

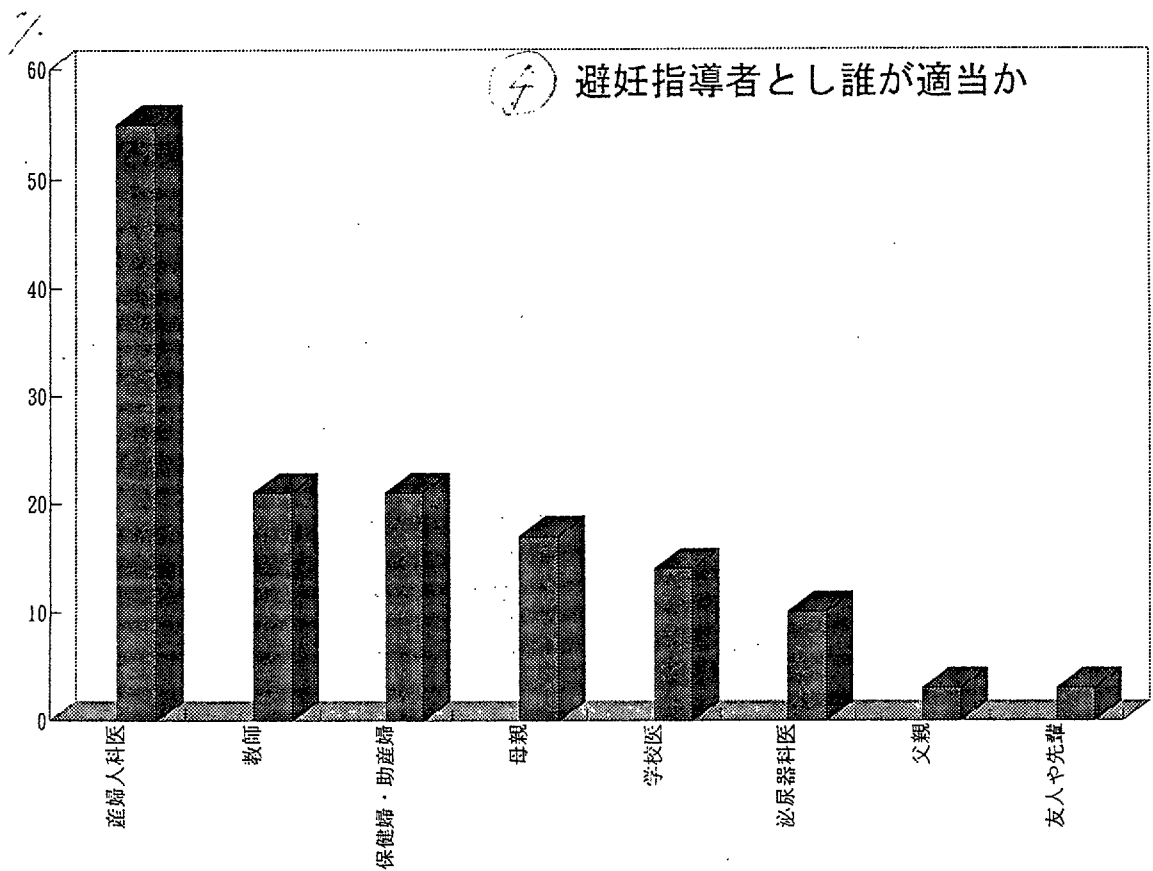
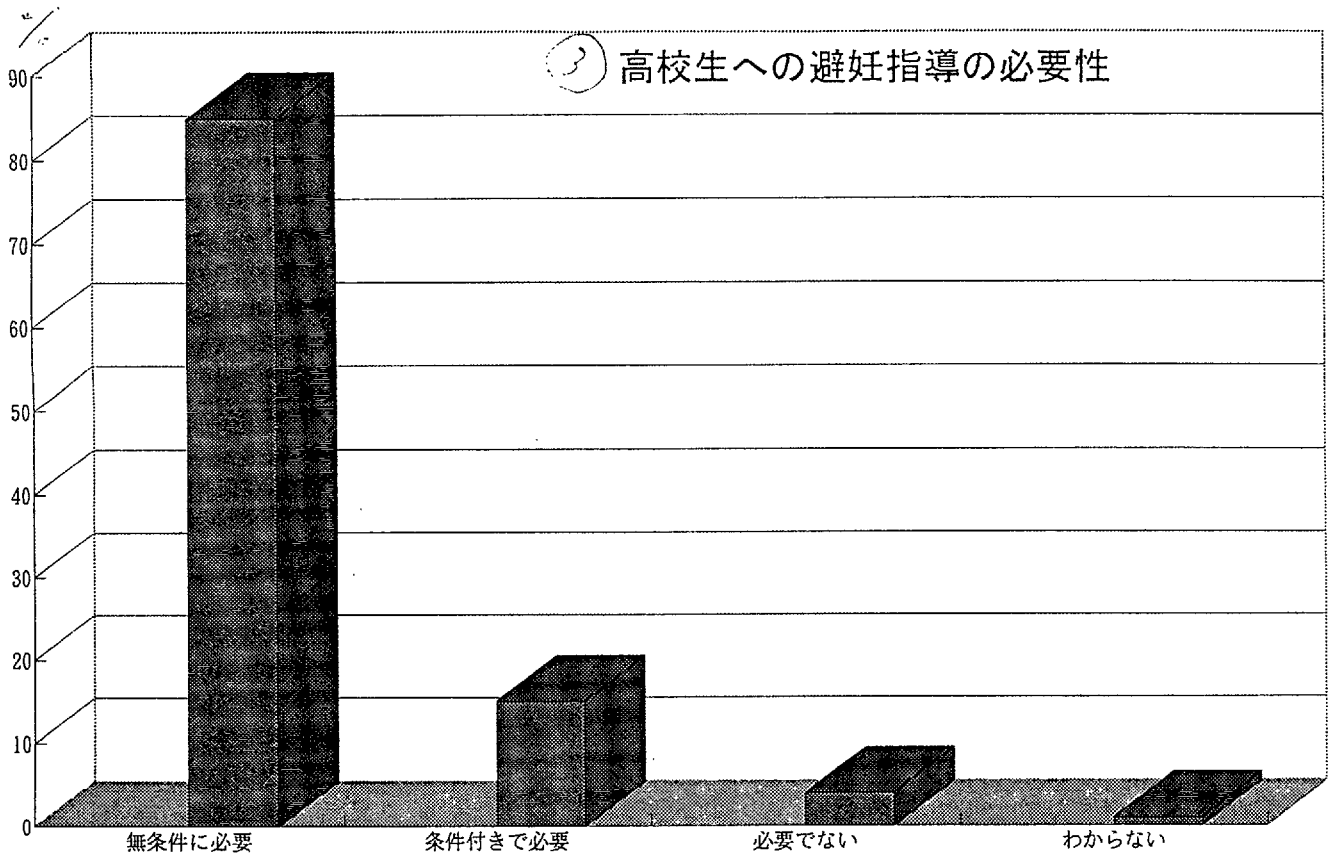


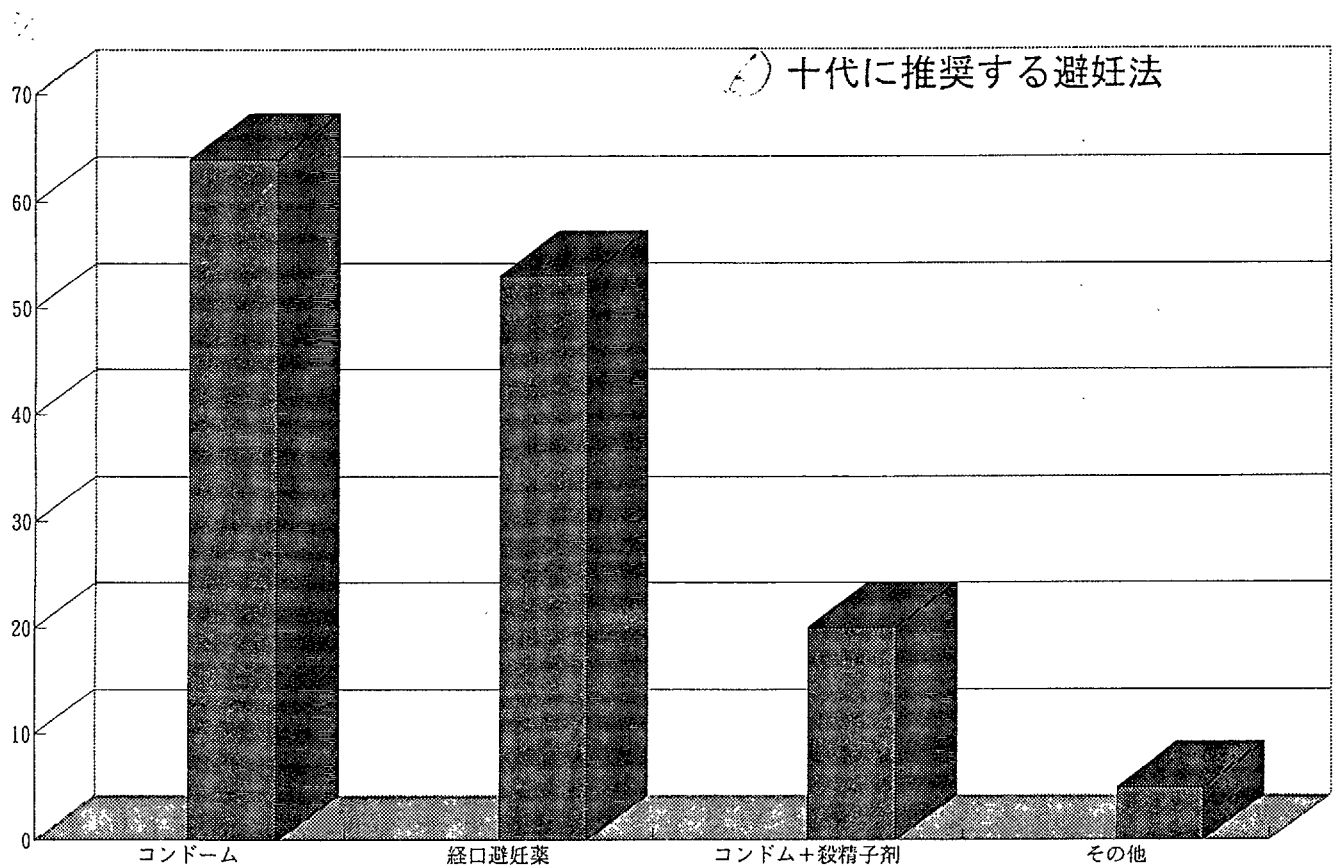
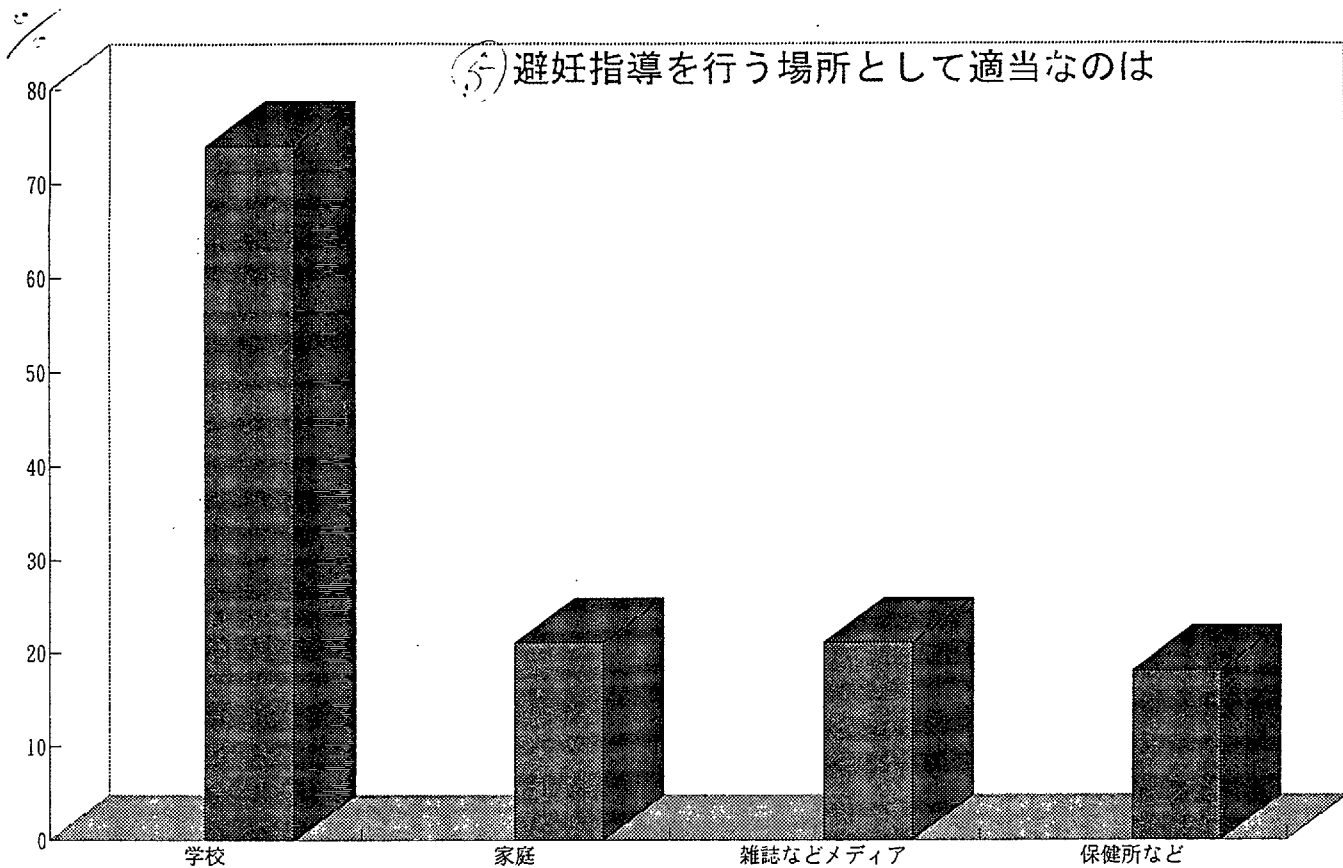
1 4°-9°

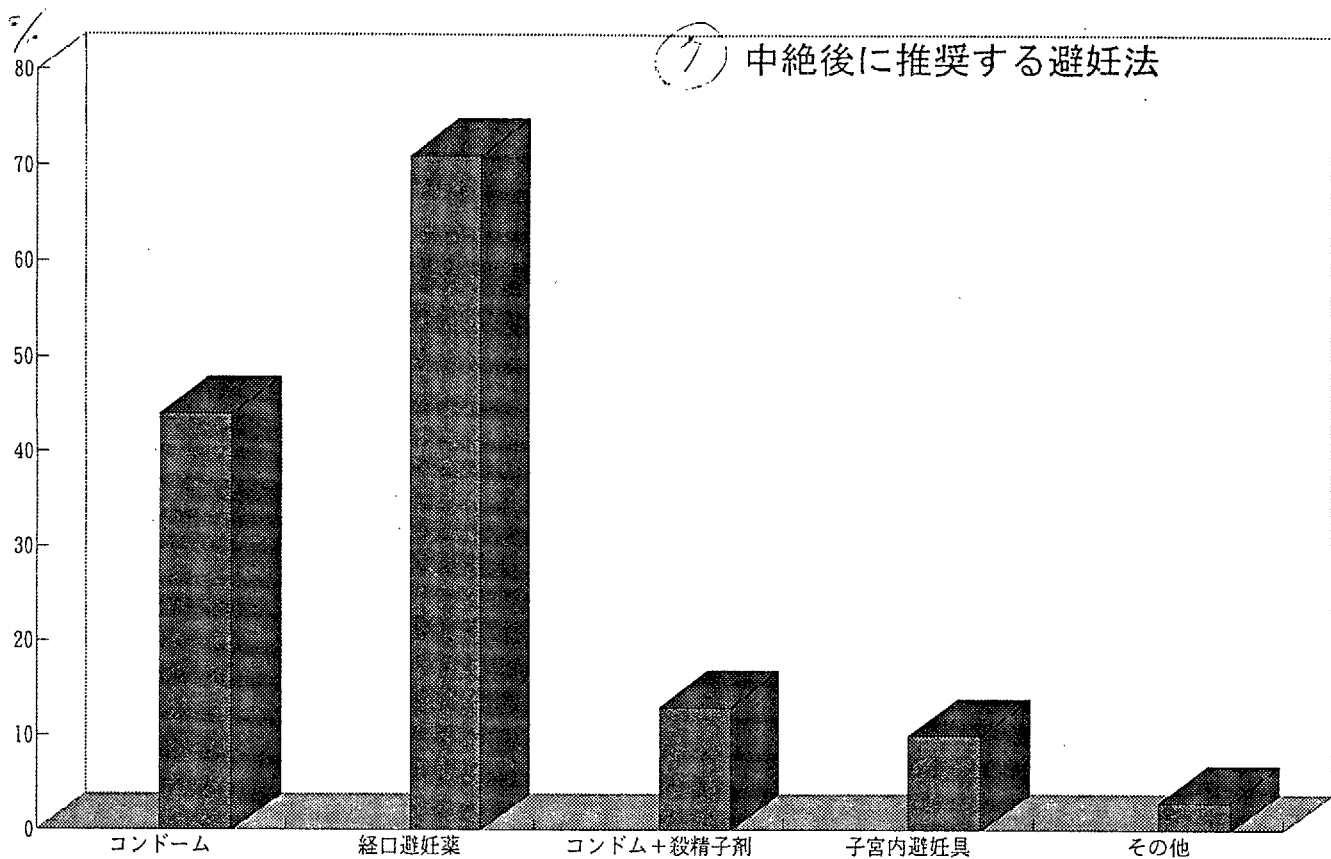
(18) 婚姻状況













検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

日本産科婦人科学会では、1978年、1983年、1988年の3回にわたって、青少年の性意識や性行動の実態をより正確に把握しようと20歳未満で妊娠した女子を対象とした社会医学的な調査を実施してきた。これらの結果を通して、性交経験の若年化が進行している事実をつかんできたが、第3回目の調査から既に7年が経過していることもあり、最新のデータを収集すべく、本研究班独自で同様の調査を行うことになった。今回は、全国的な規模ということではなく、研究班への協力を要請した全国7地域(北海道、青森、宮城、群馬、東京、島根、鹿児島)の医師の関係する10を超える施設での調査となっている。

また、東京思春期保健研究会の会員(産婦人科医)を対象として、「十代の避妊と避妊指導のあり方」について調査した。